

ABBYY® FineReader 11

システム管理者ガイド

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、その内容について ABBYY は何ら責任を負いません。
本書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供されます。
同ソフトウェアは、契約条件に厳密に従った場合に限り、使用および複製が行えます。本書のいかなる部分も、書面による ABBYY の明示的な許可を得ることなく、電子的またはその他のいかなる形式または方法によっても、その目的を問わず、複製または伝送を行ってはなりません。

© ABBYY Production LLC, 2013. All rights reserved.

ABBYY、ABBYY のロゴ、ABBYY FineReader、ADRT は ABBYY Software Ltd. の登録商標または商標です。

© 1984–2008 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

米国 特許 5,929,866; 5,943,063; 6,289,364; 6,563,502; 6,185,684; 6,205,549; 6,639,593; 7,213,269; 7,246,748; 7,272,628; 7,278,168; 7,343,551; 7,395,503; 7,389,200; 7,406,599; 6,754,382
により保護されています。その他の特許申請中。

Adobe® PDF Library は Adobe Systems Incorporated からライセンス供与を受けています。

Adobe、Acrobat®、Adobe のロゴ、Acrobat のロゴ、Adobe PDF のロゴおよび Adobe PDF Library は、米国および/またはその他の国々における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

© 1996–2007 LizardTech, Inc. All rights reserved. DjVu® は米国 特許 No. 6,058,214.

によって保護されています。外国特許申請中。

© 2008 Celartem, Inc. All rights reserved.

© 2011 Caminova, Inc. All rights reserved.

Powered by AT&T Labs Technology.

© 2011 University of New South Wales. All rights reserved.

Newton、Pragmatica、Courier フォント © 2001 ParaType, Inc.

OCR-v-GOST フォント © 2003 ParaType, Inc.

© 2002–2008 Intel Corporation.

© 2010 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft、Outlook、Excel、PowerPoint、Windows Vista、Windows は、米国および/またはその他の国々における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

© 1991–2008 Unicode, Inc. All rights reserved.

© 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved

OpenOffice.org、OpenOffice.org のロゴは Oracle および/または同社の関連会社の登録商標または商標です。

JasPer License Version 2.0:

© 2001–2006 Michael David Adams

© 1999–2000 Image Power, Inc.

© 1999–2000 The University of British Columbia

© 1996–2011, Amazon.com, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

EPUB® は IDPF (International Digital Publishing Forum) の登録商標です。

iPad® は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の 商標です。

他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

目次

ワークステーションへの ABBYY FINEREADER 11 のインストール	3
インタラクティブ インストール	3
コマンド ライン インストール	4
アクティブディレクトリの使用	6
Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) の使用	11
ABBYY FINEREADER 11 のライセンス認証	16
ライセンス認証が必要な理由	16
製品のライセンス認証	16
ライセンス認証方法	16
ライセンスの自動認証	17
ライセンスの更新	17
FAQ (よくある質問)	19
ABBYY FineReader 11 があらかじめインストールされているオペレーティング システムのクローンを作成できますか?	19
ワークステーションで ABBYY FineReader 11 を修復するには、どうすればよいですか?	19
有効期限が切れたライセンスをワークステーションから削除するには、どうすればよいですか?	19
テクニカル サポート	21

ワークステーションへの ABBYY FineReader 11 のインストール

ABBYY FineReader 11 は CD-ROM から直接、またはネットワーク共有からインストールできます (ネットワーク共有の場合は、頒布パッケージ全体をファイル サーバーにコピーする必要があります)。

次の方法のいずれかを使用して、ABBYY FineReader 11
をワークステーションにインストールできます。

- インタラクティブ モードで手動により
- コマンド ライン経由
- アクティブディレクトリ
- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)

ワークステーションの要件

1. 1 GHz 以上の 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) CPU
2. オペレーティング システム: Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Server 2003、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows Server 2008 または Microsoft Windows Server 2008 R2
(ローカライズされたインターフェイスで作業するには、オペレーティング システムが該当する言語をサポートしている必要があります)
3. メモリ: 1024 MB の RAM。マルチプロセッサ システムでは、追加プロセッサのそれぞれについて 512 MB の RAM を追加する必要があります
4. すべてのプログラム コンポーネントのインストール用 700 MB、プログラムの動作 700 MB
5. ビデオ カードとモニタ (最小解像度 1024×768)
6. キーボード、マウスまたはその他のポインティング デバイス

注: Microsoft Word、Microsoft Excel、および Microsoft Outlook ドキュメントからの PDF ファイルを開くためには、対応する Microsoft Office アプリケーションがご使用のシステムにインストールされている必要があります。

重要事項 同じワークステーションに ABBYY FineReader の異なるエディションをインストールすることはできません。

インタラクティブ インストール

1. 配布ファイルを含むフォルダにある **setup.exe** ファイルを実行します。



2. セットアップ ウィザードによって表示される指示に従います。

コマンド ライン インストール

- 下記のパラメータを使用して、配布ファイルを含むフォルダにある **setup.exe** ファイルを実行します。

広告インストール

広告インストールを行うには、次の文字列を入力します

Setup.exe /j

ワークステーションの **[Start] (スタート)** メニューにプログラムのアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、プログラムが既定の設定で自動的にインストールされます (インターフェイス言語はコンピュータの地域設定に基づいて自動的に選択されます)。

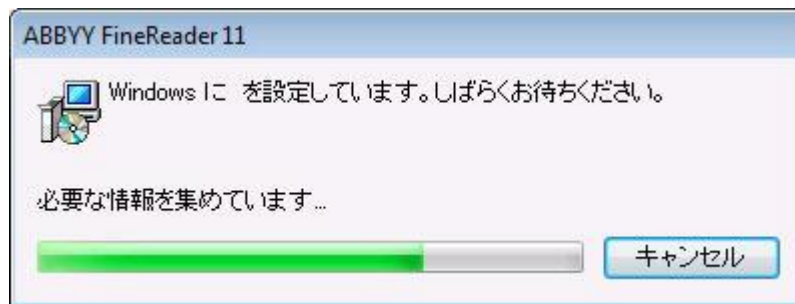
サイレント インストール

サイレント インストールを行うには、次の文字列を入力します

Setup.exe /qn

サイレント インストールの場合、セットアップ ダイアログボックスは表示されず、プログラムは既定の設定でインストールされます (インターフェイス言語はコンピュータの地域設定に基づいて自動的に選択されます)。

注意: インストールの進捗度バーを表示する場合は、**"/qn"** を **"/qb"** に変更します。他のダイアログ ボックスは一切表示されません。



サイレント インストール用の追加的なコマンドライン オプション

/L<言語コード> は、インターフェイス言語の自動選択を無効にし、コマンドラインで指定したインターフェイス言語で ABBYY FineReader をインストールします。

利用できる可能性のある言語コード* の値:

- 1026 ブルガリア語
- 1028 中国語 (繁体字)
- 1029 チェコ語
- 1030 デンマーク語
- 1031 ドイツ語
- 1032 ギリシャ語
- 1033 英語
- 1034 スペイン語
- 1036 フランス語
- 1038 ハンガリー語
- 1040 イタリア語
- 1041 日本語
- 1042 韓国語
- 1043 オランダ語
- 1045 ポーランド語
- 1046 ポルトガル語 (ブラジル)
- 1049 ロシア語
- 1051 スロバキア語
- 1053 スウェーデン語
- 1055 トルコ語
- 1058 ウクライナ語
- 1061 エストニア語
- 1066 ベトナム語
- 2052 中国語 (簡体字)

*利用可能なインターフェイス言語の数は、ご使用の頒布パッケージの種類により異なります。

/V"<コマンドライン>" は、指定したコマンドラインを **msiexec.exe** に直接、渡します。「コマンドライン」の語句の代わりに次の語句を指定できます。

INSTALLDIR="**<インストール先へのパス>**" は、ABBYY FineReader 11 がインストールされるフォルダへのパスを指定します。

WEB_ALLOWED=<Yes または No> は、選択した ABBYY FineReader 設定に関する情報をインターネット経由で ABBYY に送信することを許可または禁止します。

例:

**Setup.exe /qn /L1049 /v INSTALLDIR="C:\ABBYY FineReader 11"
WEB_ALLOWED=Yes**

これにより、ABBYY FineReader 11 が **C:\ABBYY FineReader 11** にインストールされます。
メニュー、ダイアログ ボックスおよびその他のインターフェイス要素はロシア語で表示されます。選択した

ABBYY FineReader 設定に関する情報は、インターネット経由で ABBYY に送信されます。
利用可能な OCR 言語のセットは、頒布パッケージの種類により異なります。

アクティブディレクトリの使用

Microsoft Windows 2003 Server および Microsoft Windows 2008 Server
には統合型のディレクトリサ

ービス、**[Active Directory] (アクティブディレクトリ)**が搭載されており、その中には **[Group Policy] (グループ ポリシー)**が含まれています。グループ ポリシーの一部である「ソフトウェア
インストール」スナップインを利用すると、ソフトウェア
アプリケーションを複数のワークステーションに同時にインストールできます。

[Active Directory] (アクティブディレクトリ)は次の 3 つの主なインストール方法を備えています。

- ユーザーに公開する
- ユーザーに割り当てる
- コンピュータに割り当てる

ABBYY FineReader 11 は **[Assign to Computer]**
(**コンピュータに割り当てる**)方法を使用してインストールできます。

重要事項

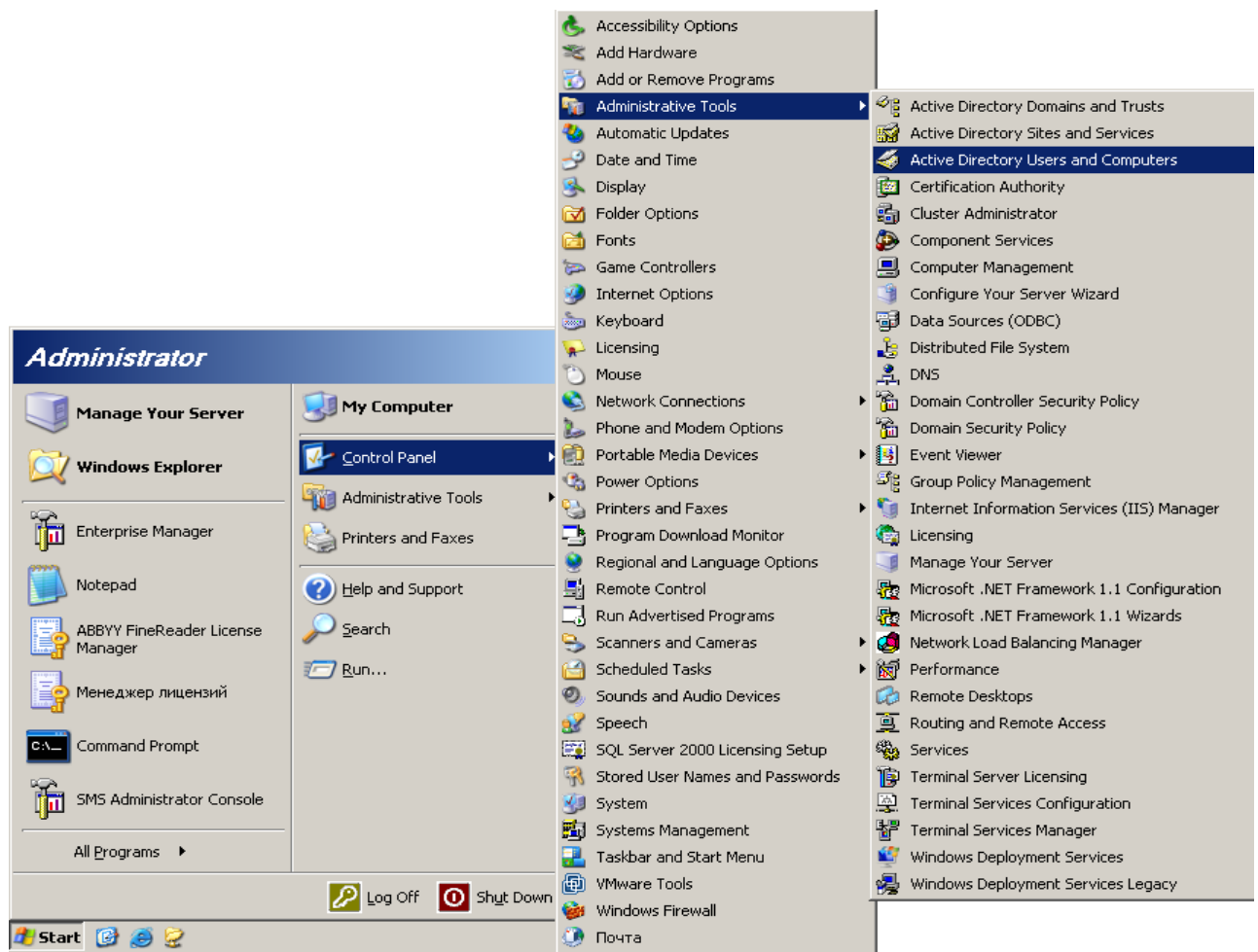
- ABBYY FineReader 11
のインストールは、ワークステーションが再起動した後でのみ、完了します。
- **[Publish to Use] (ユーザーに公開する)**方法および **[Assign to User]**
(**ユーザーに割り当てる**)方法はサポートされていません。
- ABBYY FineReader を使用するには、Microsoft Core XML Services (MSXML) 6.0
がワークステーションにインストールされている必要があります。

例：アクティブディレクトリを使用した ABBYY FineReader 11 の展開

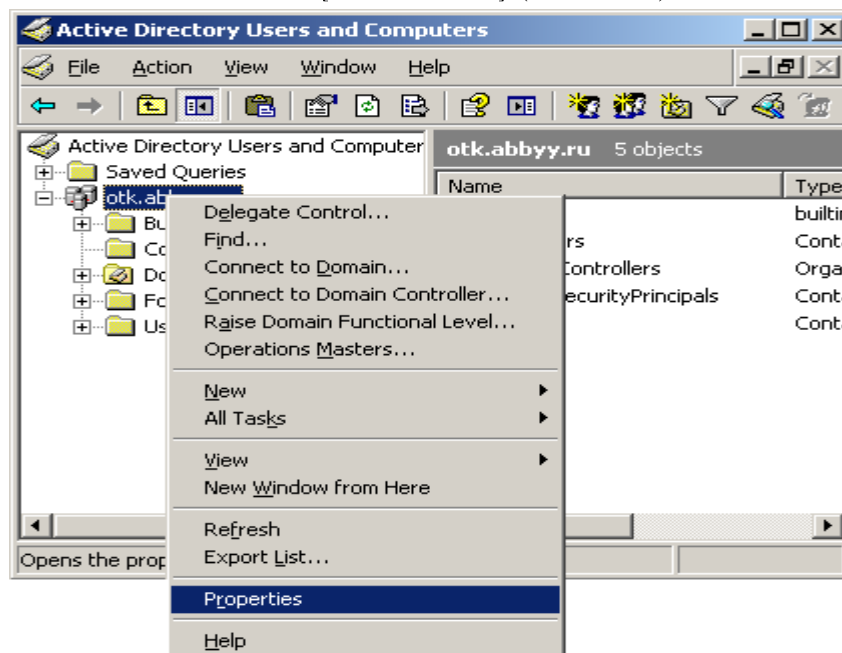
この例では、Microsoft グループ管理コンソールがインストールされた Microsoft Windows Server
2003 の下での展開について説明します。

プログラムは 1 台のドメイン コンピュータまたはコンピュータのグループにインストールされます。

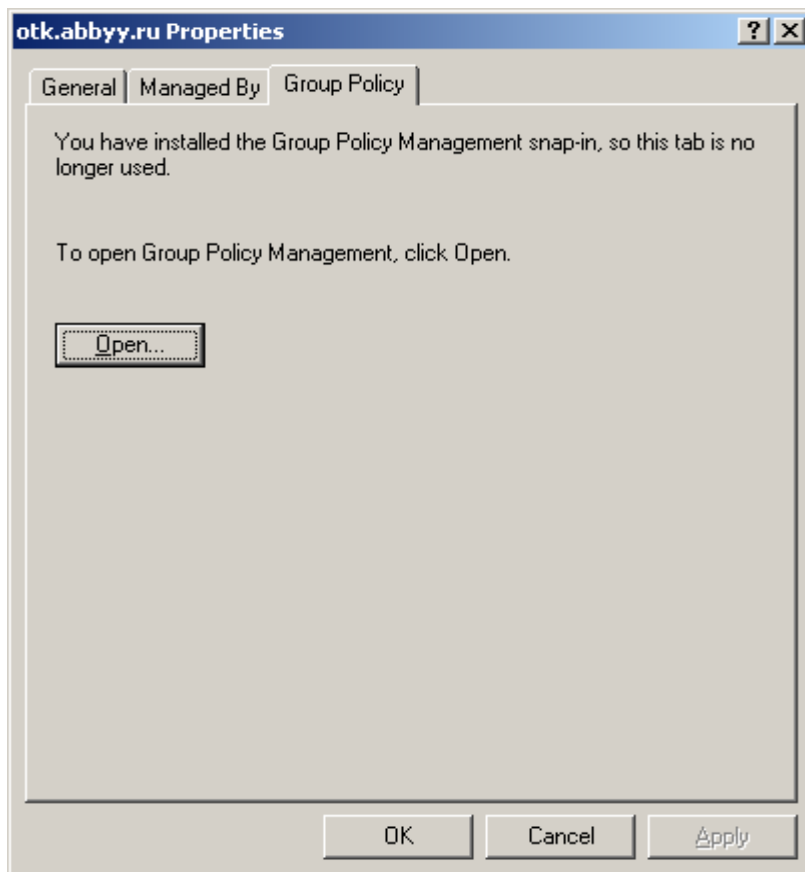
1. ABBYY FineReader 11 頒布パッケージをサーバーにコピーします。
2. **[Start] > [Control Panel] > [Administrative Tools]** ([スタート] > [コントロール パネル]
> [管理ツール]) へと進み、**[Active Directory Users and Computers]**
(**アクティブディレクトリのユーザーとコンピュータ**) を選択します。



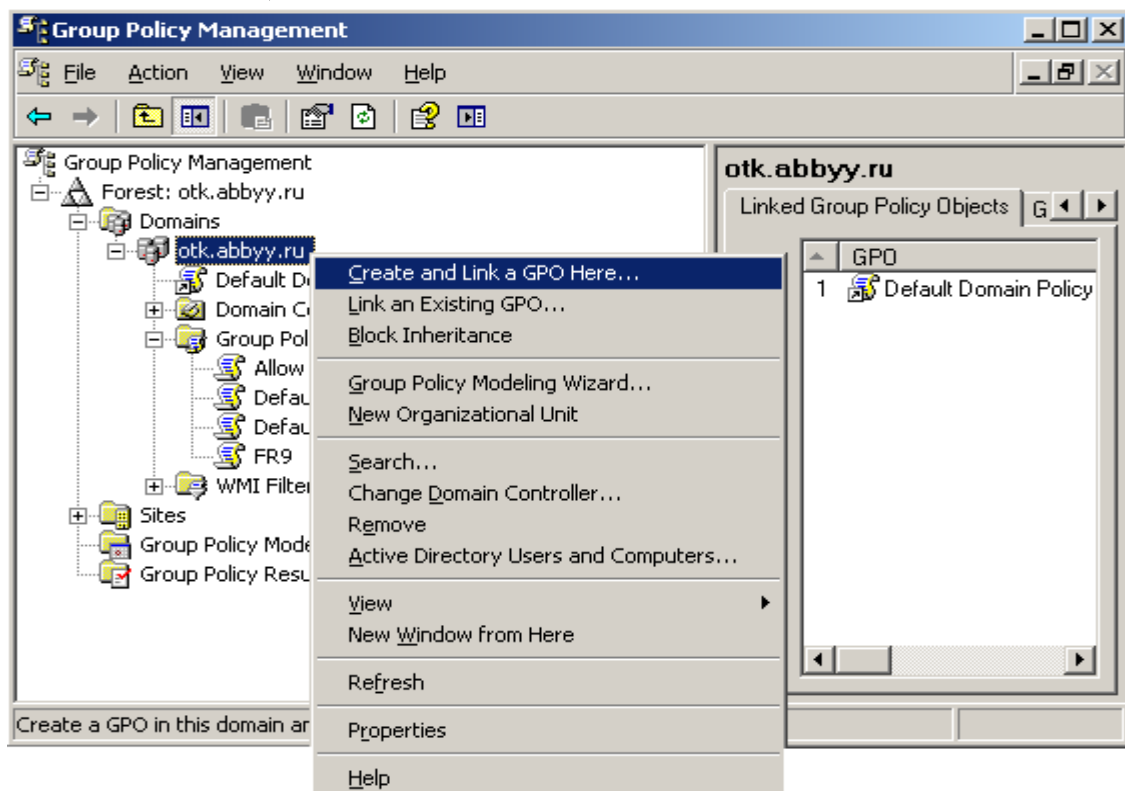
3. ABBYY FineReader 11
をインストールするコンピュータまたはコンピュータのグループを含むサイト、ドメイン、または別の組織的単位を右クリックします。
4. ショートカット メニューで **[Properties]** (プロパティ) を選択します。



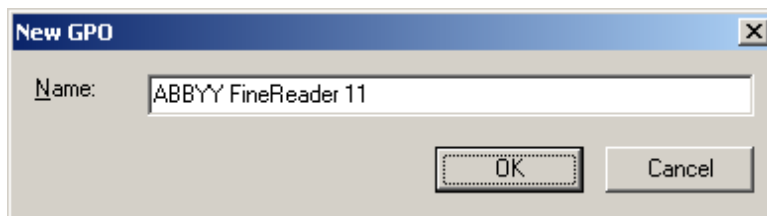
5. **[Properties]** (プロパティ) ダイアログ ボックスで、**[Group Policy]** (グループ ポリシー) タブをクリックし、次に **[Open...]** (開く) をクリックします。



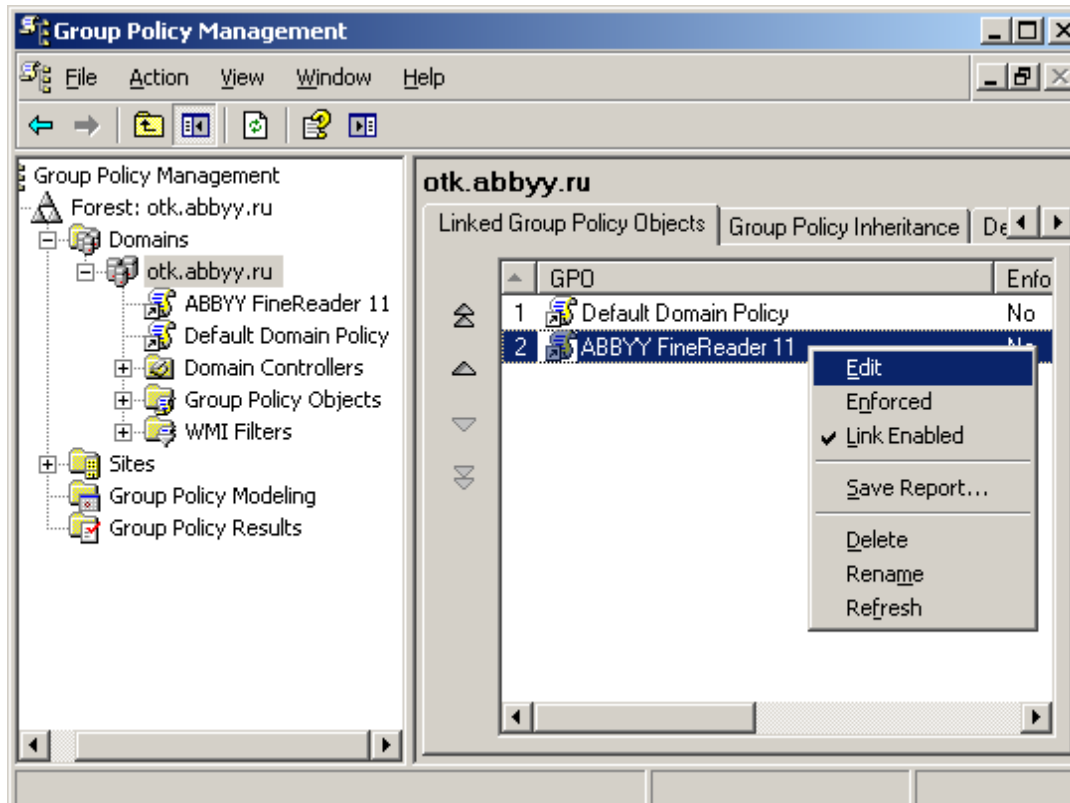
6. ABBYY FineReader 11
をインストールするコンピュータまたはコンピュータのグループを含む組織的単位を右クリックします。
7. ショートカット メニューで [**Create and Link a GPO Here...**] (ここに GPO
を作成してリンクする) を選択します。



8. 分かりやすい名前を入力し、[OK] をクリックします。

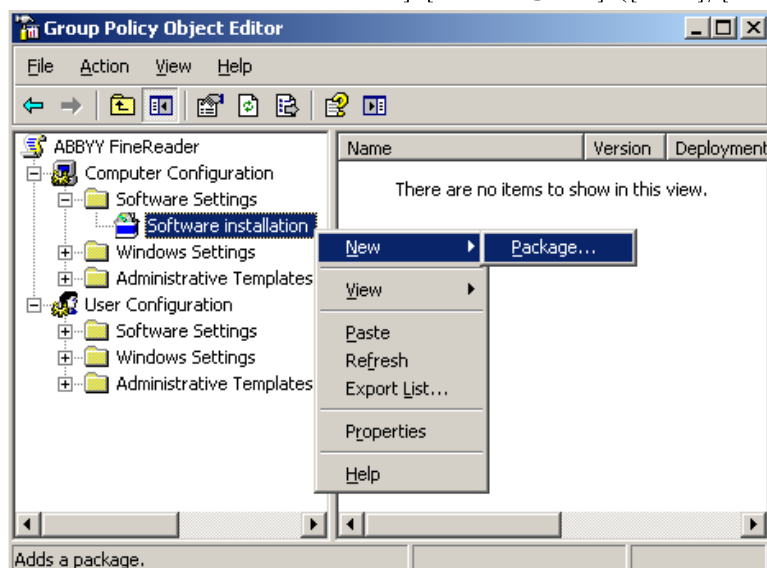


9. 作成した [Group Policy] (グループ ポリシー) オブジェクトを右クリックし、[**Edit**] (編集) を選択します。

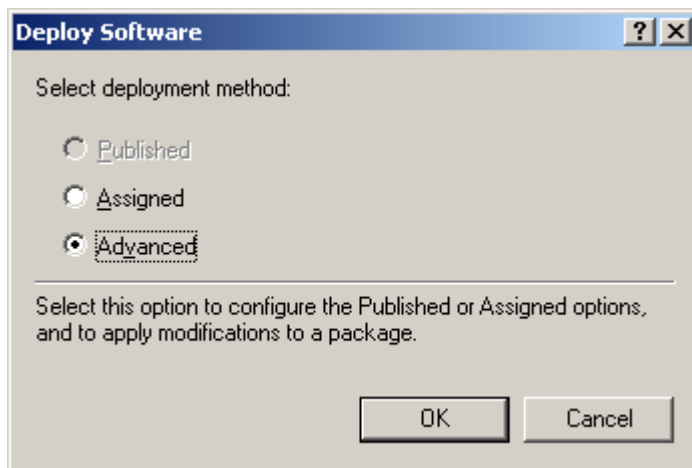


10. [**Group Policy Object Editor**] (グループ ポリシー オブジェクト エディタ) ウィンドウで、[**Computer Configuration**] > [**Software Settings**] > [**Software Installation**] ([コンピュータ構成] > [ソフトウェア設定] > [ソフトウェアのインストール]) をクリックします。

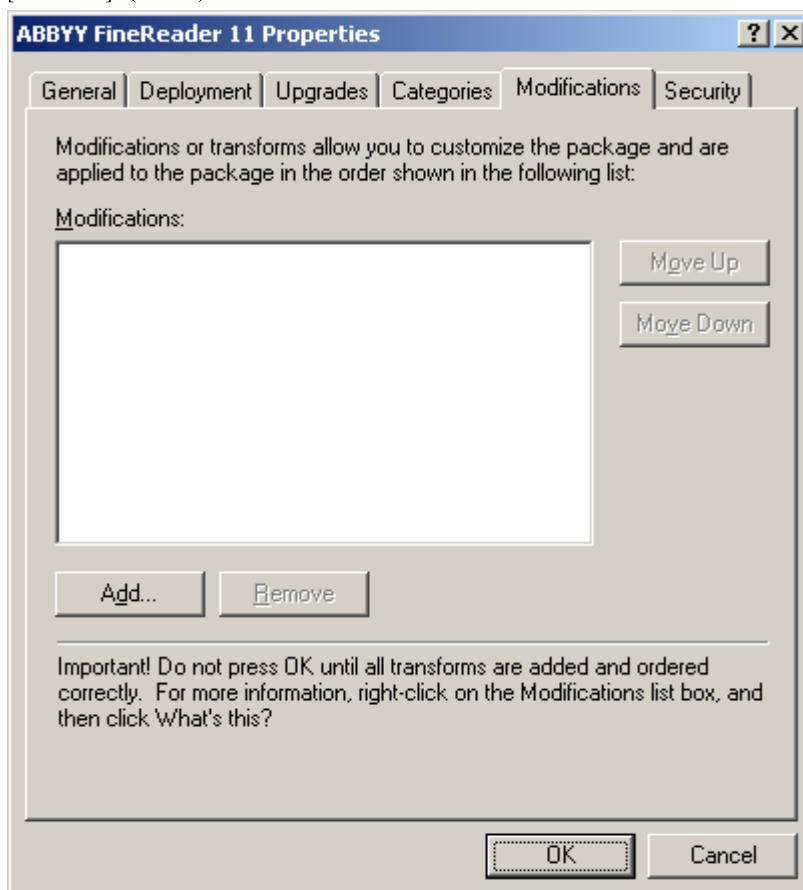
11. ショートカット メニューで [**New**]/[**Package...**] ([新規]/[パッケージ...]) を選択します。



12. **ABBYY FineReader 11.msi** ファイルへのネットワーク パスを指定します。
このファイルはサーバー上の ABBYY FineReader 頒布パッケージにあります。
13. **[Advanced]** (高度) の展開方法を選択します。



14. 表示されたダイアログ ボックスで、**[Modifications]** (変更) タブをクリックし、次に **[Add...]** (追加) ボタンをクリックします。



15. ワークステーションにインストールされたときに ABBYY FineReader が使用するインターフェイス言語を選択します。
言語ファイルは、サーバーの配布フォルダにあります。
ファイル名とその言語は次のとおりです。
 - 1026.mst ブルガリア語
 - 1028.mst 中国語 (繁体字)
 - 1029.mst チェコ語
 - 1030.mst デンマーク語
 - 1031.mst ドイツ語

1032.mst ギリシャ語
1033.mst 英語
1034.mst スペイン語
1036.mst フランス語
1038.mst ハンガリー語
1040.mst イタリア語
1041.mst 日本語
1042.mst 韓国語
1043.mst オランダ語
1045.mst ポーランド語
1046.mst ポルトガル語 (ブラジル)
1049.mst ロシア語
1051.mst スロバキア語
1053.mst スウェーデン語
1055.mst トルコ語
1058.mst ウクライナ語
1061.mst エストニア語
1066.mst ベトナム語
2052.mst 中国語 (簡体字)

例: ロシア語のインターフェイスの ABBYY FineReader をインストールするには、[**1049.mst**] を選択します。

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) の使用

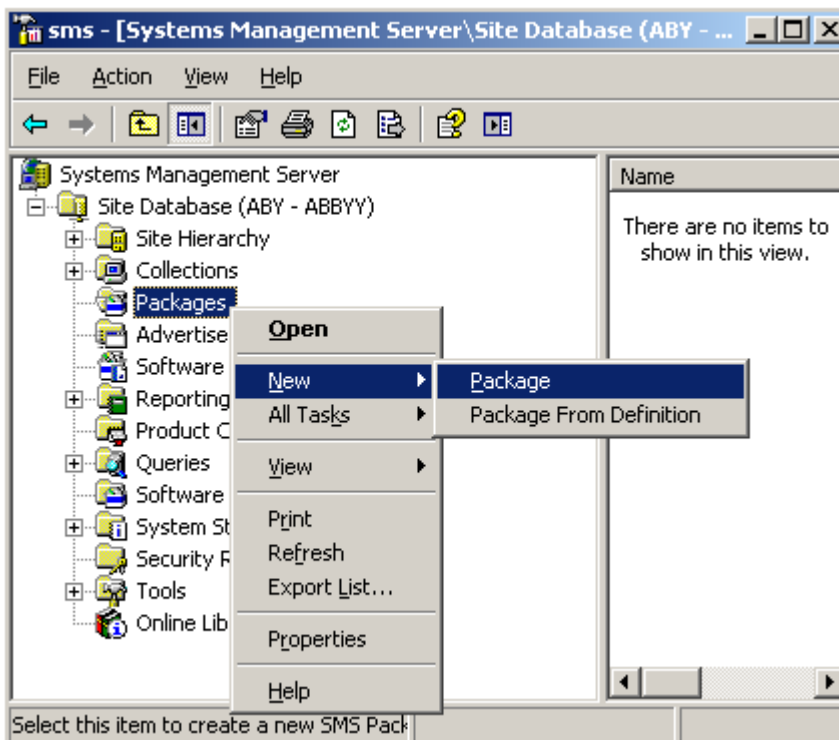
Microsoft System Center Configuration Manager は、ローカル エリア ネットワークでのソフトウェア展開を自動化するため、ソフトウェアがインストールされる場所 (コンピュータ、グループ、またはサーバー) に直接移動する必要がなくなります。

SCCM を使用したソフトウェアの展開は、次の 3 つの段階で構成されています。

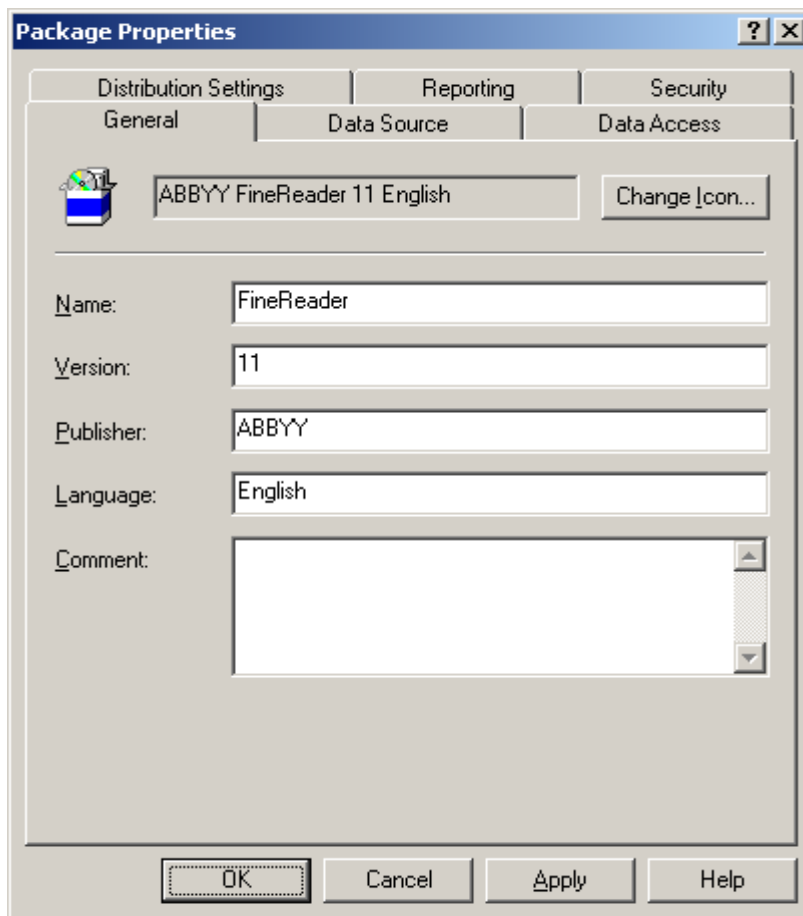
1. 自動インストールのための ABBYY FineReader 11 の準備 (いわゆる「無人セットアップ」の作成)
2. 展開スクリプトの作成、すなわちインストール パラメータの選択。
 - コンピュータ名
 - インストールの時刻
 - インストールの条件
3. 指定されたコンピュータへのソフトウェアのインストール (スクリプトで指定されたインストール パラメータに従って SCCM が実行)。

例: SCCM を使用した ABBYY FineReader 11 の展開

1. ABBYY FineReader 11 頒布パッケージをサーバーにコピーします。
2. SCCM 管理者コンソールで、[**Packages**] (パッケージ) の項目を選択します。
3. [**Action**] (操作) メニューで、[**New**] > [**Package**] ([新規] > [パッケージ]) を選択します。

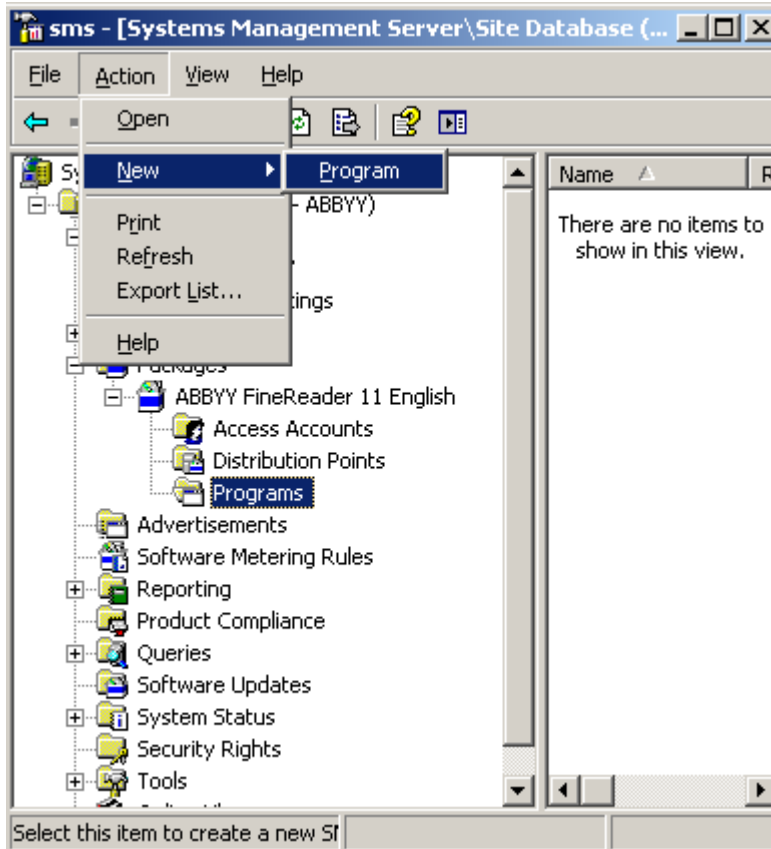


4. 表示された **[Package Properties]** (パッケージ プロパティ) ダイアログボックスで、必要なパッケージ プロパティを入力します。



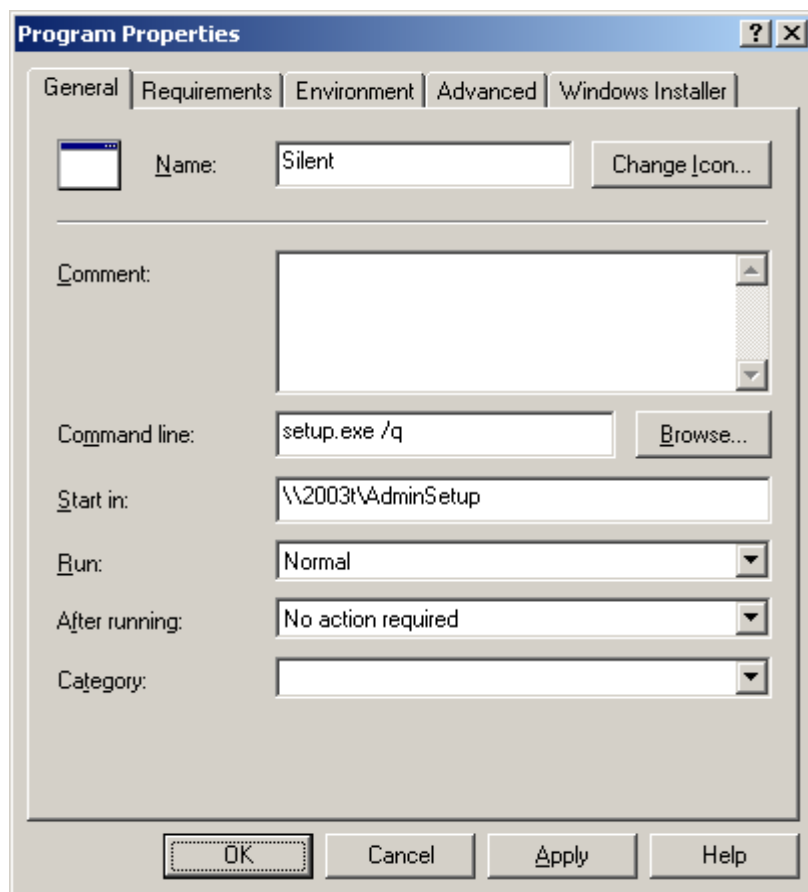
5. **[Data Source]** (データ ソース) タブをクリックします。
6. **[This package contains source files]** (このパッケージはソース ファイルを含む) ボックスにチェックマークが付いていないことを確認し、**[OK]** をクリックします。
7. 作成したパッケージで、**[Programs]** (プログラム) を選択します。

8. **[Action]** (操作) メニューで、**[New]** > **[Program]** ([新規] > [プログラム]) を選択します。



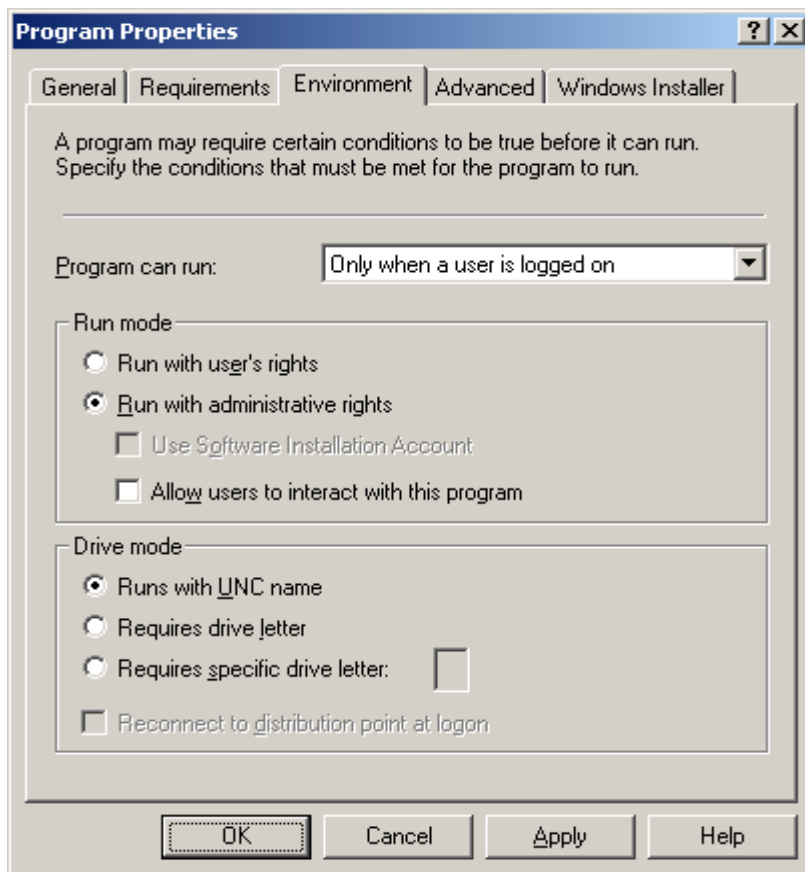
9. **[Program Properties]** (プログラム プロパティ) ダイアログ ボックスの **[General]** (全般) タブで

- プログラムの分かりやすい名前を **[Name]** (名前) フィールドに入力します。
- **[Command Line]** (コマンド ライン) フィールドに「**setup.exe /q**」と入力します。
- **[Start in]** (開始場所) フィールドに、ABBYY FineReader 配布フォルダにある **setup.exe** ファイルへのネットワーク パス (例: **\\MyFileServer\Programs Distribs\ABBYY FineReader 11**) を入力します。



10. **[Program Properties]** (プログラム プロパティ) ダイアログ ボックスの **[Environment]** (環境) タブで

- **[Run with administrative rights]** (管理者権限で実行する) を選択します
- **[Runs with UNC name]** (UNC 名で実行する) が選択されていることを確認します



11. 必要に応じて **[Program can run]** (プログラムの実行条件) フィールドの条件を変更し、**[OK]** をクリックします。
12. **[Distribute Software Wizard]** (ソフトウェア配布ウィザード) を使用することも可能です。ウィザードを実行するには、**[Action]** (操作) メニューで **[All Tasks] > [Distribute Software]** ([すべてのタスク] > [ソフトウェアの配布]) を選択し、ウィザードに表示される指示に従います。

重要事項 Distribution Points (配布ポイント) は作成できません。

ABBYY FineReader 11 のライセンス認証

ライセンス認証が必要な理由

ABBYY

では、ソフトウェアのライセンス認証テクノロジーを利用してソフトウェア製品の不正使用を防いでいます。このテクノロジーは、同時に実行できるコピーの数を制限し、1つのコピーが無制限の数のワークステーションにインストールされることを防ぎます。

ライセンス認証が行われていない ABBYY FineReader

は、製品のバージョンによって起動しないか、またはトライアル モードで起動します。トライアルモードでは、お住まいの地域と製品のバージョンによって、特定の機能が使用できないことがあります。

製品のライセンス認証

ユーザーが ABBYY FineReader 11 を起動しようとしたときに、その ABBYY FineReader 11 がご使用のワークステーションでライセンス認証されていない場合、またはライセンスの有効期限が切れている場合は、ライセンス認証を行うようユーザーに求めるダイアログ ボックスが表示されます。

ライセンス認証はわずか数分で完了します。

ライセンス認証ウィザードは、ライセンス認証に必要なデータをユーザーが ABBYY に送信するお手伝いをします。データが送信されると、製品は自動的に、または ABBYY から受信した**ライセンス認証コード**を入力することにより、ライセンス認証されます（詳細については「**ライセンス認証方法**」を参照してください）。

ABBYY FineReader をライセンス認証するには。

1. ワークステーションで ABBYY FineReader 11 を起動します。
2. [**ライセンスの認証...**] をクリックします。
注意: ABBYY FineReader をトライアル モードで実行している場合は、[ヘルプ] > [**ABBYY FineReader のライセンス認証...**] を選択します。
3. ライセンス認証ウィザードに表示される指示に従います。
電話または電子メールを使用してライセンス認証を行う場合は、ABBYY から受け取ったライセンス認証コードまたはライセンス認証ファイルへのパスを、ライセンス認証ウィザードの該当するフィールドに入力する必要があります。

ライセンス認証プロセスが完了すると、ABBYY FineReader 11 はそのワークステーションでフルモードで使用できます。

ライセンス認証方法

次のライセンス認証方法が使用できます。

- **インターネット経由（高速で、推奨される方法）**

ライセンス認証は自動的に処理され、数秒間で完了します。
この方法でライセンス認証するには、インターネット接続が必要です。

- **電子メールを使用する（高速）**

ライセンス認証ウィザードにより、ライセンス認証の電子メール メッセージが作成されます。件名や本文を変更せずに、このメッセージを ABBYY に送信してください。返信メールでファイルが届きます。このファイルをハード ディスクに保存します。
ライセンス認証ウィザードで [**Next**]

(次へ >) をクリックし、続いて [**Browse...**] (参照...) をクリックしてファイルへのパスを入力します。

- **Web サイト上 (高速)**

ご使用のソフトウェアをライセンス認証できる URL アドレス、ご使用のソフトウェアのシリアル番号、およびお客様の Product ID がライセンス認証ウィザードに表示されます。指定された URL に移動し、シリアル番号と Product ID をページ上の該当するフィールドにコピーします。ファイルが生成されます。このファイルをご使用のコンピュータにダウンロードします。ライセンス認証ウィザードで [**Next**] (次へ >) をクリックし、続いて [**Browse...**] (参照...) をクリックしてファイルへのパスを入力します。

- **他のコンピュータからの電子メールを使用する (低速)**

ライセンス認証電子メールのテキストと、メッセージの送信先の電子メールアドレスがライセンス認証ウィザードに表示されます。別のコンピュータで電子メールメッセージを作成し、ライセンス認証ウィザードからそのメッセージにテキストをコピーして、ライセンス認証ウィザードで示されたアドレスにメッセージを送信します。返信メールでファイルが届きます。このファイルを、ABBYY FineReader 11 のライセンス認証を行うコンピュータにコピーします。ライセンス認証ウィザードで [**Next**] (次へ >) をクリックし、続いて [**Browse...**] (参照...) をクリックしてファイルへのパスを入力します。

重要事項

ライセンス認証ウィザードにより生成されたライセンス認証メッセージのテキストに変更を加えないでください。
メッセージに添付書類がなく、メッセージの最後に自動署名が挿入されていないことを確認してください。

- **電話を使用する (低速)**

重要事項 このライセンス認証方法は、頒布パッケージの種類によっては利用できません。
ライセンス認証ウィザードで、お住まいの国を選択します。最寄りの ABBYY オフィスまたは ABBYY パートナーの電話番号がウィザードに表示されます。
いずれかの番号をダイヤルし、お客様のシリアル番号と Product ID (両方ともライセンス認証ウィザードに表示されます) を担当者に伝えます。
担当者はライセンス認証コードを読み上げます。ライセンス認証ウィザードで [**Next**] (次へ >) をクリックし、ライセンス認証コードを入力します。

注意: ライセンス認証コードは 26 文字あるため、書き取るのに多少時間がかかることがあります。

ライセンスの自動認証

製品のバージョンによっては、ユーザーに確認を求めることなく、ライセンス認証がインターネットを介して自動的に行われます。この種類のライセンス認証には有効なインターネット接続が必要です。何らかの理由により自動ライセンス認証が失敗した場合は、製品のライセンス認証を再度試みるか、または異なるライセンス認証方法を選択することができます。

ライセンスの更新

期間限定のライセンスを使用している場合、ライセンスの有効期限が切れると、ABBYY FineReader 11 を使用できなくなります。

継続して製品を使用するには、ライセンス認証ウィザードを実行し、新しいシリアル番号の認証を行う必要があります。

FAQ (よくある質問)

ABBYY FineReader 11

があらかじめインストールされているオペレーティング システムのクローンを作成できますか？

ABBYY FineReader 11 を展開するために、ご使用の Microsoft Windows XP/Vista/7 オペレーティング システムのクローンを作成できます。ご使用の OS のクローンを作成した後で、ABBYY FineReader のライセンス認証を行う必要があります。ライセンス認証が行われていない ABBYY FineReader は、製品のバージョンによって起動しないか、またはトライアル モードで起動します。

製品のバージョンによっては、ユーザーに確認を求めることなく、ライセンス認証がインターネットを介して自動的に行われます。詳細については「*ABBYY FineReader 11 のライセンス認証*」を参照してください。

重要事項

1. クローンの作成は、クローンを作成するコンピュータで ABBYY FineReader がまだ実行されていない場合に限り可能です。
その他の場合は、そのコンピュータで ABBYY FineReader を修復する必要があります。
「ワークステーションで ABBYY FineReader 11 を修復するには、どうすればよいですか?」を参照してください。
2. Once you have cloned your OS, you need to change its name and **Security Identifier (SID)**.
3. ABBYY FineReader 11 のトライアル バージョンは、クローンを作成することはできません。

ワークステーションで ABBYY FineReader 11 を修復するには、どうすればよいですか？

インタラクティブ モードでの ABBYY FineReader 11 の修復

ワークステーションで以下の操作を行います。

1. **[Start] (スタート) > [Control Panel] (コントロール パネル) で、[Add and Remove Programs] (プログラムの追加と削除) を選択します。**
注意: Microsoft Windows Vista および Microsoft Windows 7 では、このコマンドは「**プログラムと機能**」と呼ばれます。
2. インストールされているプログラムのリストから **[ABBYY FineReader 11]** を選択し、**[Change] (変更)** をクリックします。
3. 表示された **[Program Maintenance] (プログラムの管理)** ダイアログ ボックスで **[Repair] (修復)** を選択し、**[Next] (次へ)** をクリックします。
4. ウィザードに表示される手順に従います。

有効期限が切れたライセンスをワークステーションから削除するには、どうすればよいですか？

1. ABBYY FineReader を起動します。
2. **[Help] > [About...] (ヘルプ) > [バージョン情報...]** を選択し、**[License Info] (ライセンス情報)** をクリックします。
3. 削除するライセンスを選択し、**[Delete] (削除)** をクリックします。

注意: **[Start]>[Programs] (スタート)>(プログラム)** 経由で ABBYY FineReader 11 を起動できない場合は、コマンド ラインから **-license** コマンドを追加して **FineReader.exe** を起動してください。

テクニカル サポート

ABBYY FineReader 11

のインストール方法や使用方法について疑問があり、この『システム管理者ガイド』で答えが見つからない場合は、ABBYY テクニカル サポートまたは ABBYY パートナー会社までお問い合わせください。連絡先情報については、**www.abbyy.com** の「サポート」セクションを参照してください。